



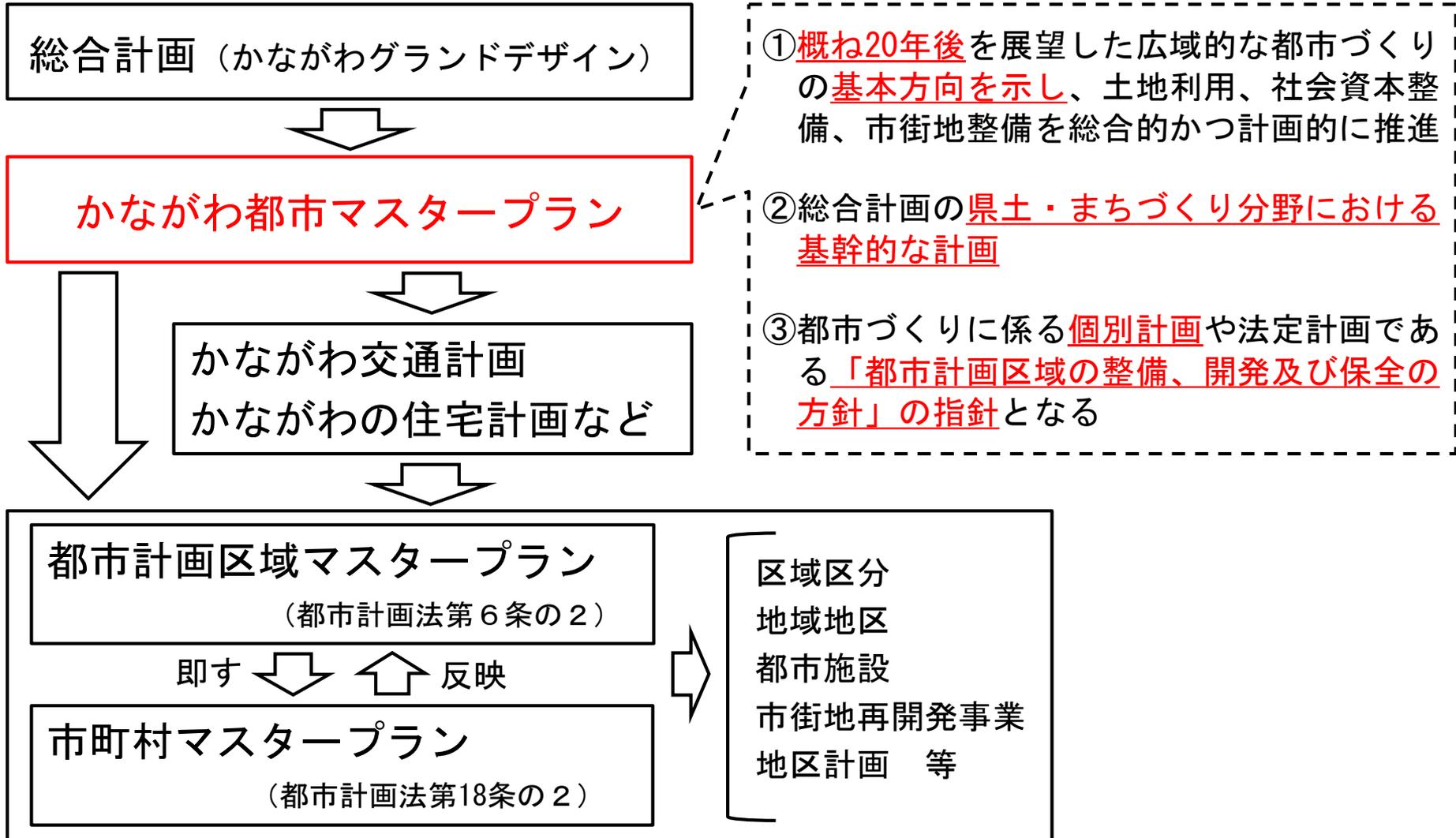
報告事項説明資料

かながわ都市マスタープランの 改定素案について（報告）

- 1 かながわ都市マスタープランの概要
- 2 改定の趣旨
- 3 改定素案の概要（主な改定内容）
- 4 今後の予定

1 かながわ都市マスタープランの概要

(1) 目的・役割



1 かながわ都市マスタープランの概要

(2) 構成

第1章 これからの都市づくりに向けて

- 1 時代の変化と見通し
- 2 これからの都市づくりの課題

第2章 都市づくりの基本方向

- 1 県土・都市像
- 2 県土・都市づくりの基本方向

第3章 都市圏域別 都市づくりの基本方向

- 1 川崎・横浜都市圏域
- 2 三浦半島都市圏域
- 3 県央都市圏域
- 4 湘南都市圏域
- 5 県西都市圏域

第4章 広域的な視点 に立った取組み

- 1 京浜臨海部再編整備
- 2 公園文化交流半島整備
- 3 相模連携軸総合整備
- 4 県西地域総合整備
- 5 相模湾沿岸地域総合整備

第5章 部門別都市 づくりの方針

- 1 土地利用の方針
- 2 社会資本整備の方針
- 3 市街地整備の方針

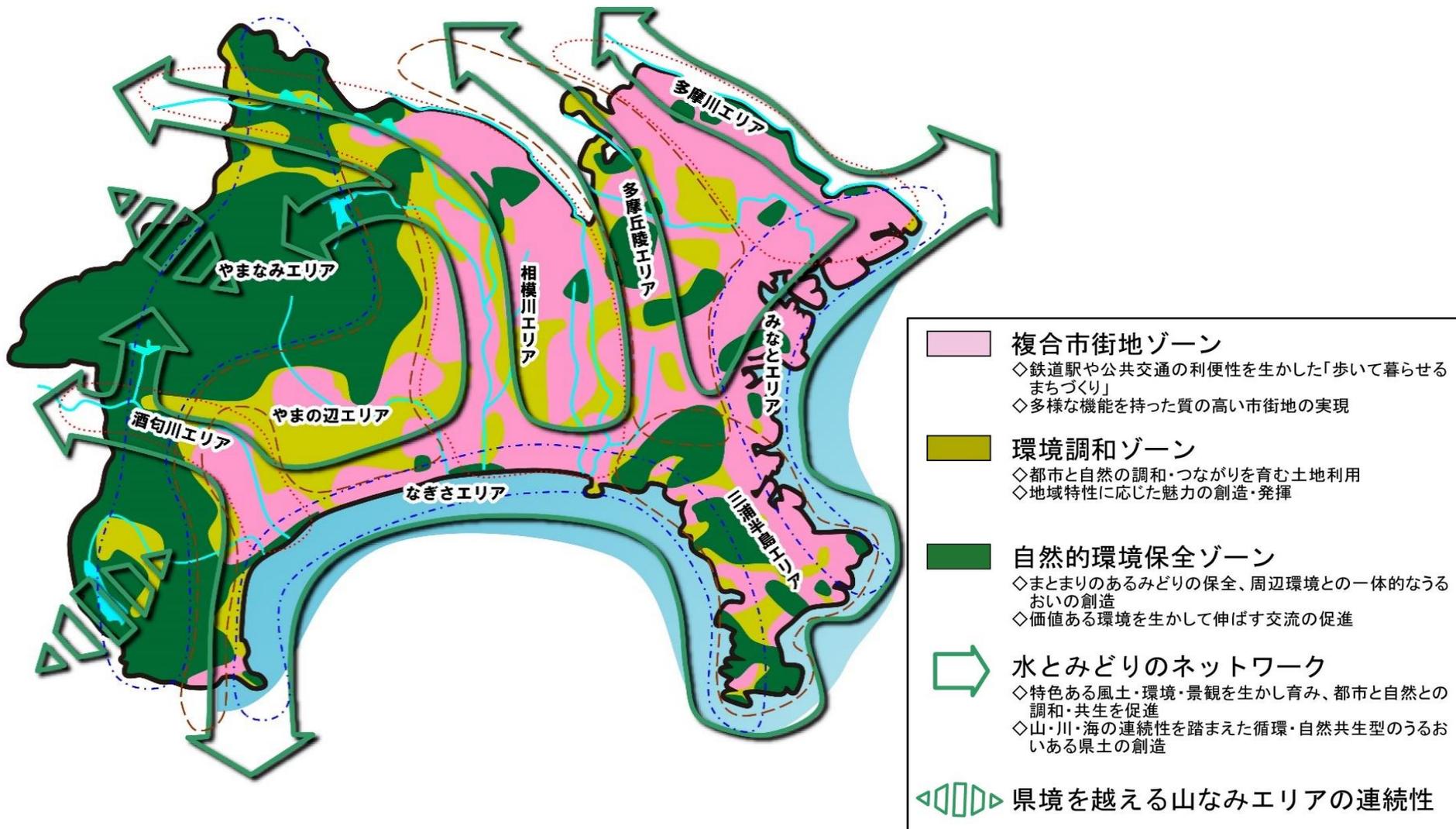
第6章 都市づくりの推進

- 1 県と市町村の連携による都市づくりの推進
- 2 多様な主体による都市づくりの推進
- 3 計画のモニタリング

1 かながわ都市マスタープランの概要

(3) 特徴①「環境共生」の方向性

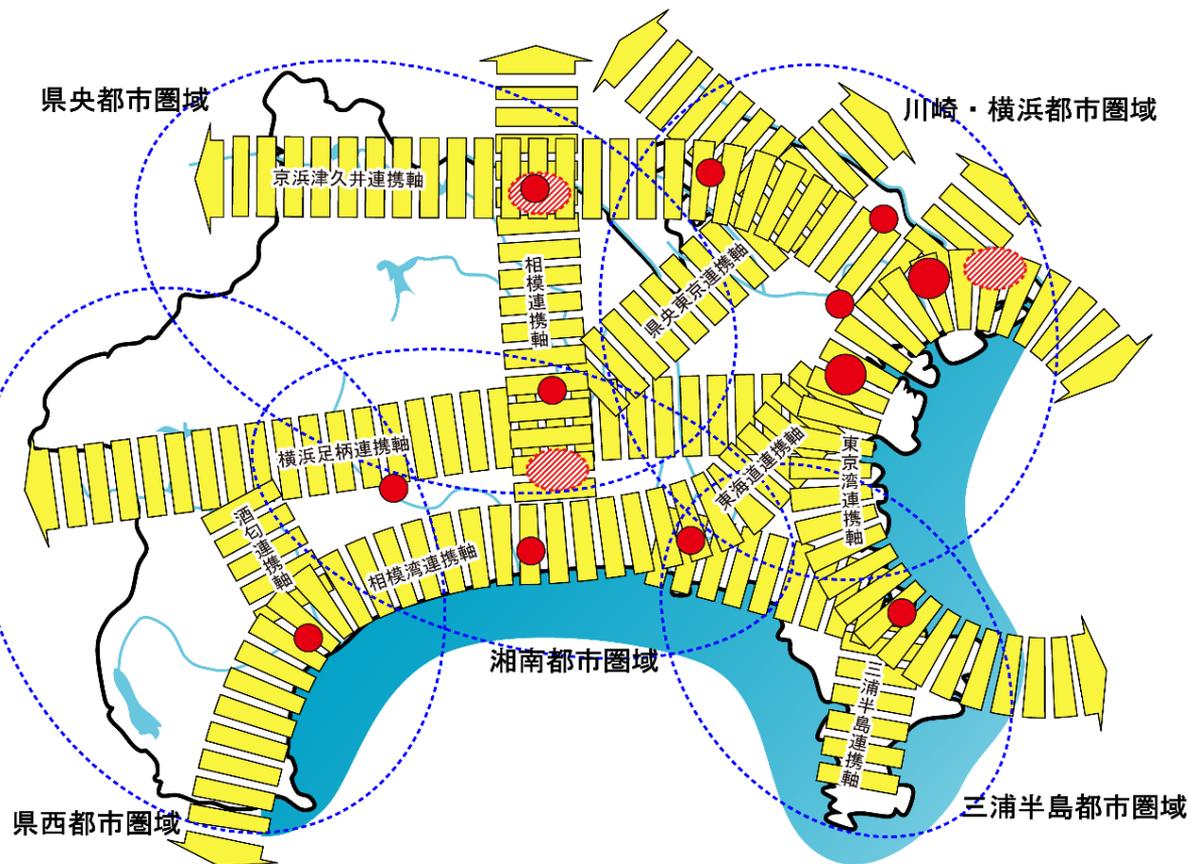
(改定素案概要版P11)



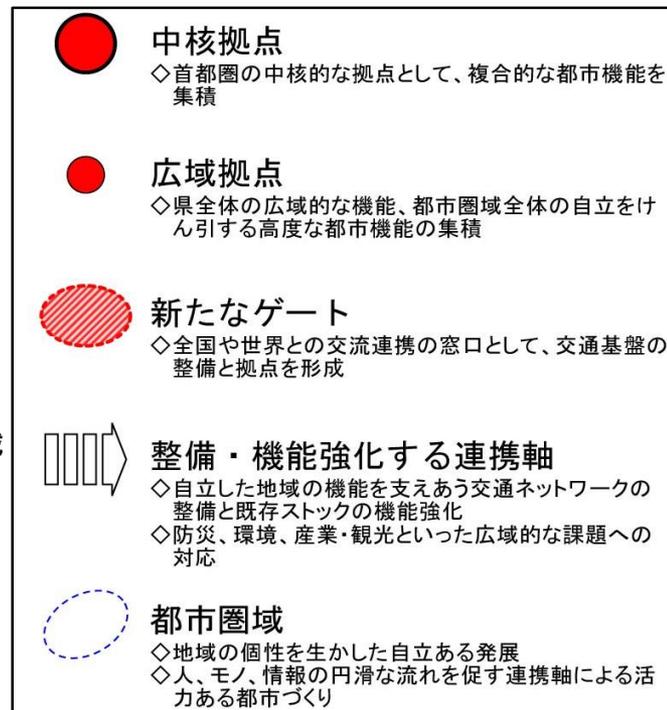
1 かながわ都市マスタープランの概要

(3) 特徴②「自立と連携」の方向性

(改定素案概要版P12)



* 拠点は、県土の骨格を形成する中核、広域拠点、新たなゲートを示しています。
また、連携軸は広域連携軸を示しています。



2 改定の趣旨

(1) 改定の趣旨

- ① 前回改定（平成19年）から 10年以上が経過
- ② 将来を展望すると、気候変動の影響などによる災害の頻発・激甚化やICTの技術革新といった社会経済情勢の変化などが見込まれる



これらに的確に対応した都市づくりを進める必要があるため、本プランを改定

※新型コロナウイルス感染症への対応

現時点では、都市づくりにどのような影響を与えるのか検証を行うことが困難であるため、改定素案では課題認識があるなどの記載に留め、今後、国の動向に注視するとともに県政策局との連携や有識者ヒアリングを行うなどして検討

2 改定の趣旨

(2) プランの1本化 (これまで別冊となっていた3つの計画)

本編 (H19.10改定)

県土全体の広域的な都市づくりの基本方向を示す

津波対策編 (H25.3一部改訂)

東日本大震災の発生を踏まえて本県の津波対策の考え方を示す

(趣旨)

気候変動の影響などによる災害の頻発・激甚化への対応なども併せて、全体整合を図りつつ本プランと1本化

地域別計画 (H22.11改定)

県土を5つの都市圏域に分けて都市づくりの基本方針を示す

(趣旨)

右記の移行を踏まえて、圏域共通の考え方、各圏域の課題、地域の拠点都市連携軸について、全体整合を図りつつ本プランと1本化

基本方針(主な内容)が法定計画である都市計画区域マスタープランに移行

都市計画区域マスタープラン (H28.11告示)

- ①都市圏域の都市計画の方針
- ②都市計画区域の都市計画の方針

かながわ都市マスタープラン

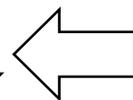
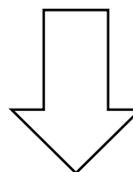
県土全体の広域的な都市づくりの基本方向を示す

3 改定素案の概要（主な改定内容）

(1) 現行プランの検証結果

○検討内容

<p>①今後の神奈川の都市構造分析調査</p> <ul style="list-style-type: none">・人口、世帯数・土地利用・住宅・交通、流動 <p>・インフラ</p> <ul style="list-style-type: none">・産業・災害・環境・エネルギー	<p>②多層・多機能型都市構造に基づく分析調査</p> <ul style="list-style-type: none">・広域課題：産業・観光・環境・防災・地域課題：土地利用・社会資本・地域づくり <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none">・県土で受け止める課題を整理
<p>③都市づくりの課題・論点整理</p> <ul style="list-style-type: none">・社会経済情勢の変化への対応・国土形成計画（首都圏広域地方計画）への対応・関係法令の改正、各種制度創設への対応 <ul style="list-style-type: none">・県内諸計画との関連・市町村マスタープラン、要望の反映・新たな視点などへの対応	
<p>④改定の方向性検討、改定素案の作成</p>	



有識者への意見聴取
庁内・市町村連絡調整会議

○検証結果

現行プランにおける「持続可能な県土・都市づくり」などの基本方向は踏襲しつつ、新たな課題への対応の方向性を示していく必要があると整理

3 改定素案の概要（主な改定内容）

（2）都市づくりの基本方向

	現行プラン（2007年）	改定素案（2020年）
展望時期	2025年	<u>2040年代前半</u>
県土・都市像	地域の個性を伸ばし、やすらぎと活力を感じる都市 かながわ	地域の個性を伸ばし、活力と <u>魅力</u> あふれる <u>強靱</u> な都市 かながわ
基本方向	「開発基調・量的拡大」から「質的向上・県土の利用と保全」を重視する方向へ 転換	<u>SDGsの理念の共有、「県土の利用と管理」、「スマートシティ」、「ダイバーシティ（多様性）」、「レジリエンス（強靱性）」といった観点を重視し、民間活力の活用、特区制度などとの連携も図りながら、人を引きつける魅力ある都市づくりを進める</u>
	選択と集中による社会資本整備、既存ストックの有効活用、都市づくり関連制度の積極的運用	選択と集中の <u>徹底</u> による社会資本整備、 <u>ストック効果の最大化</u> 、都市づくり関連制度の積極的運用

3 改定素案の概要（主な改定内容）

（3）社会経済情勢の変化などへの対応

① 人口減少社会の本格化などを踏まえた都市づくり

- 地域の実情に応じた「コンパクト＋ネットワーク」の形成
- 観光振興、地方創生、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成など

② 産業構造の転換などを踏まえた都市づくり

- リニア中央新幹線による国土構造の変革、羽田空港の国際線増便、首都圏3環状道路の概成などを生かした都市づくり
- 特区との連携（3つの特区）など

3 改定素案の概要（主な改定内容）

③ 2050年脱炭素社会の実現などを踏まえた都市づくり

- 再生可能エネルギーの導入、エネルギーの利活用を最適化するスマートコミュニティの形成、次世代自動車の普及促進
- 都市農地の保全・活用、自然環境が有する多様な機能を活用するグリーンインフラの推進など

④ 気候変動の影響などによる災害の頻発・激甚化などを踏まえた都市づくり

- 地震や風水害などへのハード・ソフト一体となった防災・減災対策の推進
- 地域の実情に応じたハザードエリアにおける土地利用規制・誘導、無電柱化の推進、地籍調査の促進など

3 改定素案の概要（主な改定内容）

⑤ ICTの技術革新などを踏まえた都市づくり

- ICTなどの新技術を活用したスマートシティの形成
- 完全自動運転、様々な移動を一つのサービスとして捉えるMaaSなどによるスマートモビリティ社会の実現の促進など

⑥ 既存ストックの老朽化、官民連携の進展などを踏まえた都市づくり

- インフラの予防保全による長寿命化、既存ストックの多機能化
- PPP/PFI、ソーシャルビジネス、クラウドファンディングの活用、都市計画基礎調査のオープンデータ化の推進など

4 今後の予定

令和2年10～11月 改定素案に対する県民意見募集

令和3年2月 県民意見を反映した改定案のとりまとめ

2～3月 神奈川県都市計画審議会に改定案を報告

3月 本プランを改定・公表



第236回 神奈川県都市計画審議会

令和2年10月20日